

ランチェスター法則による社長のリーダーシップ CD-R

日本で開発されたP・Mリーダーシップとランチェスター法則が合体した、従業員100人以下専用の教材。従業員のヤル気の大本は社長自身にある。

目次	
第1章 リーダーシップの歴史と基本原則 1. リーダーの実力で変わる部下の仕事量 2. 逆転型のトラブル企業 3. ホーソン工場の能率向上実験 4. ミシガン大学の作業能率研究 5. 日本におけるリーダーシップの研究 6. PMリーダーシップのチェックリスト 7. 自己評価と部下評価に大きなズレが発生 8. 社長のリーダーシップを構成する要因とウエイト付	9. 社長は経営の8大戦略をマスターする 10. 社長は従業員教育に力を入れる 11. 従業員の人数で変わる社長の役目を理解する
	第3章 人間関係能力の高め方 1. 朝の挨拶は社長が先にする 2. 従業員が良い仕事をしたらほめる 3. 従業員の家庭生活や人生の生き方に関心を示す 4. 仕事の改善では従業員の意見を聞く 5. 従業員を公平に扱う 6. 社長は公私混同をせず自分を例外にしない 7. 従業員に文句をいうときは原因をはっきり指摘する 8. 社長は従業員に対して「げた・ぞうり議論」をふっかけない 9. 従業員と交わした約束は必ず守る 10. ポアソン分布に打ち負かされない 11. 社長には性悪説的行動と性善説的行動の使い分けがある 12. 実行の定着はフランクリンの自己啓発法で
第2章 経営に対する願望と熱意及び仕事遂行能力の高め方 1. 現状を分析をして経営内容の実態を知る 2. 社長は経営に対する願望や熱意を高める 3. 社長は朝型を中心に仕事を時間を長くする 4. 経営を構成する大事な要因をはっきりさせる 5. 利益性の原則をはっきりさせる 6. 力を入れて取り組む重点目標をはっきり決める 7. 戦略と戦術の違いをはっきりさせる 8. ランチェスター法則をマスターする	

社長の理想像は、従業員思いの仕事熱心な戦略名人。

社長のリーダーシップ

定価 **36,000** 円(税別)

CD-R3巻。3時間30分。テキスト付



1938年生。久留米市出身。福岡大学経済学部卒。建材メーカーで経理と営業を担当後、28歳のとき企業調査会社に転職。中小企業の信用調査と倒産会社の取材を担当。35歳のときにランチェスター法則と出会い、以来同法則を経営全体への応用を研究。44歳のときにランチェスター経営を創業。講演は4000回に。著書はプロ社長(中経出版)が。

お申し込みはFAXで。

ご住所	〒				業種		従業員	人
会社名	役職	ご氏名					様	
TEL	FAX							

ランチェスター経営(株) 〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8-301 TEL 092-535-3311
 制作 竹田陽一 HPは <http://www.lanchest.com/> FAX 092-535-3200